

東北新社共同製作・配給

ソフィア・ Coppola監督最新作 『SOMEWHERE』 第 67 回 ベネチア国際映画祭 金獅子賞受賞！

東北新社（東京都港区・植村徹社長）がアメリカ・フランス・イタリアの大手映画会社と共同製作し、アジアでの配給権を保有しているソフィア・ Coppola監督最新作『SOMEWHERE』（原題）が、9月1日～11日まで開催された「第67回ベネチア国際映画祭」のコンペティション部門でグランプリにあたる金獅子賞を受賞しました。

公式上映時より地元イタリアメディアを中心に高い評価を得ていた本作は、審査委員長クエンティン・タランティーノ以下審査員の心を強くつかみ、満場一致で金獅子賞受賞が決定しました。

『SOMEWHERE』は、日本中の女性を虜にした『マリー・アントワネット』から4年、ソフィア・ Coppola待望の新作で、アカデミー賞脚本賞に輝いた『ロスト・イン・トランスレーション』以来のオリジナル・ストーリー。舞台は、ハリウッド伝説のホテル“シャトー・マーモント”。孤独を抱えるハリウッド俳優が、離れて暮らす一人娘との触れ合いによって自らの人生を見つめ直す感動のドラマ。東北新社は『ロスト・イン・トランスレーション』『マリー・アントワネット』に引き続き、共同製作者として本作に関わっています。

ベネチア国際映画祭でプレミア上映された後、数々の賞レースを席卷しアカデミー賞脚本賞を受賞した前々作『ロスト・イン・トランスレーション』（2003）同様、本作の今後の賞レースの行方にも大きな注目が集まります。

アメリカ公開は12月22日。日本での公開は、2011年4月2日新宿ピカデリーほか全国ロードショー。

【審査委員長クエンティン・タランティーノのコメント】

審査員満場一致で（金獅子賞に）決定した。我々は最初の試写から『SOMEWHERE』に魅了されてしまった。審査員と他の作品の話をしていても、『SOMEWHERE』に立ち戻ってしまった。

（金獅子賞を与えるにあたって）我々の求めていた芸術性を感じた。ソフィアにこの賞を渡せることをうれしく思う。

【ソフィア・ Coppola監督の受賞コメント】

信じられない！！誇りに思います。受賞は、この作品がより多くの人へ届く助けになります。（父である映画監督フランシス・フォード・ Coppolaに対し）私に映画作りを教えてくれたことを感謝しています。ありがとう。

また、「現代のロサンゼルスを舞台にした親密な作品」と自ら位置づける本作の受賞によって、「このような小規模なパーソナルな映画が増えるとうれしい」と述べた。



© 2010 - Somewhere LLC



© kazuko WAKAYAMA

【ストーリー】

タブロイド紙を頻繁ににぎわす俳優ジョニー・マルコ（スティーン・ドーフ）は、ハリウッドにある伝説的なホテル、シャトー・マーモントで暮らしている。フェラーリを乗り回し、ホテルで一緒に過ごす女性にも事欠かないが、孤独を抱えて生きている。そんな中、別れて暮らす11歳の娘クレオ（エル・ファニング）が、不意にシャトーに現れる。クレオと過ごす日々によってジョニーは自分の人生を見つめ直し始めるが…。

【スタッフ&キャスト】

監督・脚本：ソフィア・ Coppola 『マリー・アントワネット』
『ロスト・イン・トランスレーション』（第76回アカデミー賞脚本賞受賞）
撮影監督：ハリス・サヴィデス プロダクション・デザイン：アン・ロス
音楽：フェニックス
出演：スティーン・ドーフ、エル・ファニング、クリス・ボンティアス
2010年 / カラー / ビスタ / 98分